

環境と情報に関連する自分史(1945年から)

	名前	河口哲人さん		他のゼミ生の感想
	生まれ	昭和12年(1937年)	関連するやりとり	
	成人するまでの主な居住地	京都府福知山市(京都府で二番目の市制でした)		
終戦後の状況				
1	終戦時の年齢は？ 終戦はどのように迎えましたか？	終戦時は7歳だった。 天皇陛下の詔勅は借家だった家の食卓で母、祖母、叔母、隣のおばちゃんと聞いた。 内容は判らなかった”どえらいことがおきた”とわかった。 (よくわからないが)ほっとした。父は内地地が出征中だった。		
2	戦後、“衣”、“食”、“住”は どんな手段で都合できたのでしょうか？	衣食は配給制度だった。 食券があった一食5円補助 朝食23円、夕食30円の時代5円は大きい。 衣料は衣料きっぷだったか？ 食糧管理制度はたしか1995年くらいまでこれは減反政策にも関係 食券制度は昭和35年頃まであったのではない。 住は戸建ての借家でして、1992年頃まで続きました。	およそ一回り若い島田さんはどうですか？ 【島田】食券の記憶はありません。普通に買っていたような気がします。 (続いてゼミ生からの質問)食券について、地域、場所によって違う？ 【河口】米穀通帳とは別に家族から離れて暮らす人のために食券があった (深津)食券はどこからもらうの？ 【河口】隣組(自治体)から (加藤)(戦後生まれの八東へ)食券のイメージは？ (八東)聞いたことはあるがイメージはできない、コロナの給付金のようなもの？ (そうですね。目的が絞り込まれています) (加藤)衣料きっぷの使い道は？ (河口)あまり覚えていないが、自治体から配られて、きっぷがないと衣類は買えないとか。	【東京都板橋区にいた渡邊さんの例】 住一団地住まい 狭くとも楽しい我が家そのものでした。文化生活と言われてました 水洗トイレ、ガス、水道とコックをひねれば すぐに何でも出ました 天園に来たようだと母の言葉。 【愛媛県西条市で育った塩川さんの例】 食・・・ほぼ自給自足に近かった。(～1980年代)米、野菜、みそ、漬物、 卵を産まなくなった鶏は食べた。 ご飯は、羽釜で炊いていた。おくださん(かまど)に薪をくべて炊いた。 乳は山羊を飼っていた。夏はクエン酸を使って『ヤギの乳のカルピス』を作って飲んだ。 魚は地元で獲れた魚をとり箱に入れ、自転車ですり来っていたおばさんから買っていた。 店は、村に2軒、『よろず屋』さん。酒、調味料、菓子など食品いろいろ、その他日用雑貨全般、 切手やガキも扱っていた。唯一のお店！助かっていました。 小さめの大八車のような荷車で、衣類のモンペも、つくだ魚や干物などを売りに行商人も来ていた。 毎朝、豆腐屋さんに、器を入れた籠を持って、妹と交代で買いに行くのが目録だった。 農業期(田植えの時期)には『共同炊事』というシステムがあり、一ヶ所でまとめて調理をし、各家庭におかずを渡していた。(婦人会が行っていたのか?)主婦は農作業の担い手であり家事もこなさなくてはならないので、とても助かっていたと思う。(田植え、稲刈りは、家族・親戚総出の作業だった) 住・・・お風呂(五右衛門風呂)はまでわかっていた。(～1970年代半頃)
生活と環境				
1	自宅での生活用水は戦後 どのように変わりましたか。	実家には水道がありました。井戸はお隣との共用です。 つるべ式の井戸は食べ物の冷却などに使いました。 釣瓶がぶつかってご飯が濡れた記憶があります。 学生時代以降(1956年)は水道でした。 		【富士市で育った島田さん(1947生)の例】 1950年頃”生活用水”水道があった。 その後、仕事用の井戸を自宅裏に掘った。 【静岡県清水区興津生まれの深津さん(80年代生)の例】 2015年頃まで電動式の井戸水を使用。 市の指導により水道水へ切り替え。 【塩川】 1960年過ぎ頃、物心がついた時にもう電気ポンプで地下水をくみ上げ、 蛇口から水を流して使用していた。(現在も)水は美味しい・・・うちめきの水 停電になると水が出なかった。
2	ご自宅のトイレはどのように 変わっていききましたか。	実家のトイレは1993年頃まで汲み取り式。 家庭菜園に下肥を運びましたが、天祥棒が屑に食い込み、苦労した記憶があります。 その後その借家を返しました。自分は1960年以降会社の寮でトイレは水洗でした。		【島田】 1951年頃”トイレ”汲み取り式でまたくのが怖かった。 下からの風が気持ち悪い。 【塩川】 1980年頃までは汲み取り式。 よく行っていた親戚のトイレは和式の水洗トイレ(1968年頃設置)で、水を貯める タンクは天井近くの上部に設置してあり、そこから下がった鎖を引っ張って 水を流した。
3	ご自宅の物干し竿は ずっと竹ですか？	実家はそうでした。1995年頃まで竹に塩ビ被覆だった(竹の劣化を防ぐため)と思います。		【島田】 1953年頃～仕事用の洗濯物は3m程の綿ロープを渡して干しました。 【渡辺】 東京の集合住宅では 竹からブルーのビニールかけそれからアルミ製。

4	ゴミ箱やゴミにまつわる記憶はありますか？	1970年頃はアパートにごみシュート(ダストシュート)がありました。数年後にはポリ袋に入れたごみを大きなペール缶(蓋つきポリ容器)に入れて道路脇に置いた。		<p>【渡邊】 ダストシュートに捨て、収集車が回収。焼却炉も有り。</p> <p>【深津】 2000年代(?)黒いゴミ袋から市指定のゴミ袋へ切り替え。</p> <p>【塩川】 1970年代までは、自宅を出した生活ごみを他人が処理するという感覚はなかった。 燃えるゴミは自宅で燃やす。生ごみは家畜の餌と堆肥用に分類。 刈り取った草や家畜の糞は堆肥に。庭木の枝は燃し木に。 草の堆肥の下には、シママミズがいっぱいいて、それを餌にして川で釣りをした。</p> <p>【島田】 1950年～道路際に木製、コンクリート製のごみ箱に捨てた。</p> <p>【清水町・沼津市で育った八東さん(1970年代生)の話】 1970年代～ゴミは決められた曜日に決められた場所に紙、後にビニル袋に入れて出す。自分たちで処理するという感覚はなかった(方法がなかった)。</p>
5	ゴミの分別について意識したのはいつ頃？どのようなきっかけ？	1985年頃、裾野市へ転居した時は分別回収だった。		
6	戦後から高度経済成長期へ	<p>社会人になってからの経験を語ってもらう。河口さんは戦後、日本の高度経済成長を支えるプラスチック事業に関わってこられました。</p> <p>仕事は？ プラスチックに携わるようになったきっかけは？ (河口)会社に入ってその部署のテーマがプラスチック関係の研究の仕事だった。 (加藤)高度成長とともにプラスチック産業の広がりがある、関係はあるのか？ (河口)はじめは不飽和ポリエステルがテーマ→3年くらいでポリスチレンに移り変わっていく。会社としては技術導入が後発だったので品質改良に苦労した。</p> <p>樹脂の製造方法はわかるが生成されるメカニズムがよくわらず品質の改善に苦慮した。 品質について営業から色々言われるがそう簡単に解決できない。 プラスチックは反応装置の性能と品質が一致している製品。</p>	<p>(加藤)日本は質を無視しなかったのでは、質に対する配慮があったのでは？ (加藤)現場目線から品質に配慮しようとする考え方はあったのか？ (河口)用途によるけどある程度の品質がないと売れなかった (加藤)消費者がわかるほど品質に対するこだわりがあったのか？ (八東)品質を優先するあまり過剰品質になることはないのか？ (河口)不具合品はある程度リサイクルできたり、安く売ったりできていた。 (加藤)農業製品にも言えることだが必要とされるレベルとそれ以上の品質を求める傾向あるのでは？ (河口)工業製品には過剰品質は感じなかった。ヤクルト容器では容器を口で噛んだ時、口を怪我しないように柔らかくすることが求められた。</p>	<p>【塩川】 1970年代までは、家の近くの(車で5分位)干潟で、海苔の養殖が盛んで、潮干狩りも楽しめた(アサリ、バカガイ、オオノガイ、マテガイ、キシャゴ、おこのり など)。しかし、埋め立てが進み、小規模の港ができて旅客船の運行が始まり、工場が増えたことで、それらも出来なくなった。泥も嫌な臭いに変わり、赤潮の発生も多くなったようだった(瀬戸内工業地帯ができる)。</p>
6-2	終戦後、強く残っている出来事は何ですか？(イベント、事件、事故、災害)	<p>強く思っているのは3つの改革。 1つ目は農業改革 大地主を排除して小作人だったひとに安価段で払い下げ土地を分散させた。 その次は財閥解体と教育改革。6-3-3制の導入、そして新憲法ができたこと。 日本の戦後を決める大きな出来事だったと思う。 「もはや戦後ではない」と池田内閣(1960年～1964年、東京オリンピック)。</p>		<p>【深津】 オウム真理教、村井さん刺殺・阪神淡路大震災・神戸連続児童殺傷事件(多感な時期だったから余計に強い印象なのかな)。(1990年代)</p> <p>【塩川】 1972年頃 ジローズの歌“戦争を知らない子供たち”が大ヒット わたしたちは、戦争体験のない戦争を知らない世代なんだ、と思ったが、今、改めて思うと、太平洋戦争が残したものは、常に、今も自分の身辺にあるのだと感じる。</p>
7	「公害」を意識したのはいつ頃、何がきっかけでしたか？	昭和42年(1967年)公害防止基本法ができ、水質や大気の管理者試験を受けた。当時住んでいた北九州では1968年カネミ油症事件が起こる(食用油にダイオキシン類(PCBなど)が製造過程で混入し、胎児に障害を引き起こした)。		<p>【渡邊】 「公害」は1970年頃か排気ガスがひどかった。</p> <p>【島田】 1968年「田子の浦へドロ公害」高3の時に工場排水の水質調査のアルバイトをした。</p> <p>【深津】 1990年代、光化学スモッグ警報が出たとき 体育の外授業が体育館になり残念だった。</p> <p>【八東】 公害を経験した記憶はなく(1980年代の記憶)、教科書の中の出来事。</p>
8	<使い捨て>を意識したものは何でいつ頃の事ですか？ その時考えた、感じた、という何か記憶はありますか？	1966年、会社でポリスチレンを製造開始し、ヤクルト容器に適するグレードを開発した。また研究所隣の隣のチームは回収されたヤクルト容器の有効利用として海苔だなのボールを開発した(1970年代?)。実験プラントでも三交代勤務をした。自社品が多く売れることを願った。		<p>マックのワンウェイの食事(マクドナルド、容器を回収しない方式のこと)。使いまわしがなく 清潔だと思っていた。</p> <p>【深津】 割りばし・ラップの消費が激しく、もったいないと思った。 割りばしは、掃除に活用した。 その他、着古しを雑巾に活用(2000年代)</p> <p>【八東】 物心ついた頃(1970年代後半～)、すでに身の回りにはコップやストロー、容器など沢山の使い捨て商品があった。 便利であることが優先され、その後どうなるかなんて考えもしなかった。</p>

生活の中の情報			
1	初めての電話との関わりはいつ、記憶に強くあることは？	小倉から福知山の実家へ公衆電話で連絡する。 20時以降は料金が安い。 1969年8月にはまだ自宅にない。 69年設置された？申し込み後1年かかった。 	【渡邊】 1965年ぐらいかなダイヤル式からプッシュホン。 【塩川】 1960年代に、有線放送電話が家に設置され(ダイヤル式黒電話)『有線』と呼んでいた。電話機から放送が流れた。 小学校の時、台風時の臨時休校のお知らせも有線電話の放送だった。
2	初めてのケータイはいつ、どのようなきっかけで？	2002年頃、子供の病気で連絡が必要だった。 妻が使用、のち自分も持った。	【渡邊】 携帯は2000年頃仕事で、小さくて見にくかった。 【深津】 高校生の時PHSと携帯を持参(高校3年間で、PHSから携帯に移行した)。 【島田】 仕事の都合で(3回目の転職)携帯電話を持った(1980年代)。 その後、バイヤーのために商談、連絡は自前のノートパソコン(22万円)。
3	鉄道(乗り物)で印象深い記憶は？	新幹線(こだま)には開業三日目に乗った。	【島田】 0系新幹線の小田原試験走行線に試乗した、営業前(1963年頃) 【深津】 幼少期に知った リニア計画が印象深い。 【塩川】 国鉄(1987年全国のJRIに分割民営化された)で移動するのと同時に、自分の荷物(荷物用の切符を買う?)も移動し、到着駅でその荷物をすぐに受け取ることができる "チッキ"という方法があったと記憶しています。(1980年代半ば頃?)
4	コンピューターに接した、あるいはそれを意識したのはいつ、どのようなことですか？	1967年頃FORTRAN習う。 1975年頃、一緒にグループだった社員が富士通へ転職した。 1989年子供がソフトの会社に就職した。 同じグループの人からワープロでなく、PCにせよと云われたがワープロを買った。 10万円だった。1990年頃一太郎、Lotus練習。	【八東】 1990年代半ば、自分が通っていた大学では一人1台ノートパソコンを携帯することが必須となった(当時として珍しかったと思う)。
5	どのような家電を導入したとき、家の中の様子が最も大きく変化しましたか？	電気洗濯機。(1965年) 祖母が手で洗濯しているのを見てきたし、結婚しても安アパートで洗濯機を置く場所がなく、女房は寒風の中、外で手で洗濯した。 子供が生まれることが判り洗濯機を置けるアパートを探し、移った。	【深津】 CDプレーヤー・ファミコン(家電?)・テレビデオ(1990年代) 【塩川】 1990年頃、家電というより、生活の中で最も便利になったと感じるのは、給湯設備。 冬の水仕事(炊事、洗濯、掃除、洗面など)は、冷たい水だととても苦勞が多く、手のかかみや、手荒れ(しもやけ、あかぎれはもう死語か?)からの解放は、女性にとって大きな変化だと思う。
6	社会の変化について感じたことは？	(河口さん)経済的に豊かになったこと。石油ショックの頃(1973年頃)から？ 食うや食わずの生活が変わった頃から世の中が保守的になっていったように思う。	(加藤)個人的なイメージとしては安後に保守的になっていったような感じがしているが。 (河口)(否定も肯定もせず)世の中に盾ついてなんかしていこうという人がいなくなり「まあええやん」という雰囲気になっていった。 安後と豊かさを感じたのは時をいつにするのではないか。
その他			
1	小学生の頃何をして遊んでいましたか？	かくれんぼ(缶けり)、(駒を手に乗せて回しながら逃げる、その間だけ走れる)鬼ごっこ。 鬼ごっこ(駆逐艦、水雷艇戦時中)。小川などでの水遊び。	【深津】 けいどろ・ファミコン・着せ替えなどなど。(1990年代) 【八東】 1980年代～缶蹴り、鬼ごっこ、かくれんぼ、虫取り、ゲームウォッチ、ファミコン、徐々に電動、コンピュータを搭載したおもちゃが増えていった 【島田】 鉄棒、真鍮の駒回し。メンコ、ペーゴマ。 【塩川】 1960年代～雨の降らない日は、ほとんど外で遊んでいた。木登り、缶蹴り、かくれんぼ一緒に遊ぶ年代は、幼児～小6と幅広かった。 小さい子は鬼にならなくてもいい『べべこ』というルールがあった。 地域の大人たちは、よその子どものことも大体知っていた。 【渡邊】 昭和30年代の子供時代 今思えば 豊とは言えないのかもしれないが 何も思わなかったただただ わあわあと泣いたり笑ったり毎日毎日忙しく生きてきた。